

Bill Evans Trio / Haunted Heart: The Legendary Riverside Studio Recordings



ビル・エヴァンス・トリオ

『ホーンテッド・ハート:ザ・レジェンダリー・リヴァーサイド・スタジオ・レコーディングス』

2025.11.21 リリース 3UHQCD: UCCO-45008/10 ¥6,600(税込) Craft Recordings/Concord

ジャズ史上最高の人気を誇る名作、『ワルツ・フォー・デビイ』を生んだビル・エヴァンス
黄金のピアノ・トリオによるスタジオ録音を全て網羅した3枚組がUHQCDで登場。



●ジャズ史上最も影響力のあるピアノ・トリオの一つ、スコット・ラファロ(b)、ポール・モチアン(ds) によるビル・エヴァンス・トリオのスタジオ録音全作品を収録。

●絶賛されているスタジオ・アルバム『ポートレート・イン・ジャズ』と『エクスプロレイションズ』を収録。さらに26曲の驚異的な別テイク&アウトテイク(うち17曲は未発表音源)を収録。

●Plangent Processes によるオーディオ修復の上、グラミー賞受賞マスタリング・エンジニア、ポール・ブレイクモアによる新規リマスターを採用。

●1959 年末までに、ベーシストのスコット・ラファロとドラマーのポール・モチアンを迎えた伝説のビル・エヴァンス・トリオ。このトリオは、新たな相互作用的な演奏スタイルで、全楽器が旋律的責任を担い、対等な声部として機能する手法を確立した。1961 年 7 月の高速道路事故でラファロが悲劇的な死を遂げたことで、この画期的なユニットは解散。しかし解散前までに、スタジオ録音 2 作とベーシストの死直前のヴィレッジ・ヴァンガードでのライブ録音 2 作、計 4 枚のアルバムを録音しており、わずか2年にも満たない活動だったが、これらはその後のピアニスト、ベーシスト、ドラマーに影響を与え続けている。

収録曲

Disc 1:

1. 降っても晴れても Come Rain or Come Shine (Take 5, Album Master)
2. 枯葉 Autumn Leaves (Take 13, Stereo Album Master)
3. ウィッチクラフト Witchcraft (Take 5, Album Master)
4. ホエン・アイ・フオール・イン・ラヴ When I Fall In Love (Take 2, Album Master)
5. ペリズ・スコープ Peri's Scope (Take 2, Album Master)
6. 恋とは何でしょう? What Is This Thing Called Love (Take 4, Album Master)
7. スプリング・イズ・ヒア Spring Is Here (Take 6, Album Master)
8. いつか王子様が Someday My Prince Will Come (Take 5, Album Master)
9. ブルー・イン・グリーン Blue in Green (Take 3, Album Master)
10. ウィッチクラフト (テイク 4/MONO)* Witchcraft (Take 4, Alternate, Previously Unreleased, Mono)
11. ウィッチクラフト (テイク 6/MONO)* Witchcraft (Take 6, Alternate, Previously Unreleased, Mono)
12. スプリング・イズ・ヒア (テイク 4/MONO)* Spring Is Here (Take 4, Alternate, Previously Unreleased, Mono)
13. 降っても晴れても (テイク 2/MONO)* Come Rain or Come Shine (Take 2, Alternate, Previously Unreleased, Mono)
14. 降っても晴れても (テイク 4/MONO) Come Rain or Come Shine (Take 4, Alternate, Mono)

Disc 2:

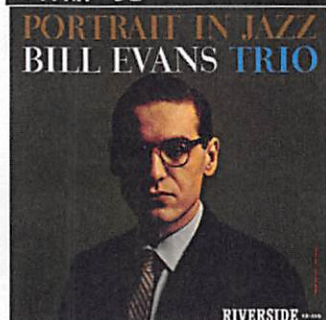
1. 枯葉 (テイク 9/MONO) Autumn Leaves (Take 9, Mono Album Master)
2. ブルー・イン・グリーン (テイク 1/MONO) Blue in Green (Take 1, Alternate, Mono)
3. ブルー・イン・グリーン (テイク 2/MONO) Blue in Green (Take 2, Alternate, Mono)
4. いつか王子様が (テイク 1/MONO) Someday My Prince Will Come (Take 1, Alternate, Previously Unreleased, Mono)
5. イスラエル Israel (Take 1, Stereo Album Master)
6. 魅せられし心 Haunted Heart (Take 3, Stereo Album Master)
7. ビューティフル・ラヴ Beautiful Love (Take 2, Stereo Album Master)
8. エルザ Elsa (Take 5, Stereo Album Master)
9. ナーディス Nardis (Take 2, Stereo Album Master)
10. ハウ・ディープ・イズ・ジ・オーシャン How Deep Is the Ocean (Take 3, Stereo Album Master)
11. アイ・ウィッシュ・アイ・ニュー I Wish I Knew (Take 4, Stereo Album Master)
12. スウィート・アンド・ラヴリー Sweet and Lovely (Take 4, Stereo Album Master)
13. エルザ (テイク 4)* Elsa (Take 4, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
14. エルザ (テイク 6)* Elsa (Take 6, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
15. スウィート・アンド・ラヴリー (テイク 3)* Sweet and Lovely (Take 3, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
16. スウィート・アンド・ラヴリー (テイク 5)* Sweet and Lovely (Take 5, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)

Disc 3:

1. スウィート・アンド・ラヴリー (テイク 6)* Sweet and Lovely (Take 6, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
2. ナーディス (テイク 1)* Nardis (Take 1, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
3. ビューティフル・ラヴ (テイク 1) Beautiful Love (Take 1, Alternate, Stereo)
4. アイ・ウィッシュ・アイ・ニュー (テイク 2) I Wish I Knew (Take 2, Alternate, Stereo)
5. アイ・ウィッシュ・アイ・ニュー (テイク 3)* I Wish I Knew (Take 3, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
6. アイ・ウィッシュ・アイ・ニュー (テイク 5)* I Wish I Knew (Take 5, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
7. 魅せられし心 (テイク 2)* Haunted Heart (Take 2, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
8. ザ・ボーイ・ネクスト・ドア (テイク 1)* The Boy Next Door (Take 1, Outtake, Previously Unreleased, Stereo)
9. ザ・ボーイ・ネクスト・ドア (テイク 4) The Boy Next Door (Take 4, Outtake, Stereo)
10. ザ・ボーイ・ネクスト・ドア (テイク 6) The Boy Next Door (Take 6, Outtake, Stereo)
11. ウォーキング・アップ* Walking Up (Take 1, Outtake, Previously Unreleased, Stereo)
12. ハウ・ディープ・イズ・ジ・オーシャン (テイク 1)* How Deep Is the Ocean (Take 1, Alternate, Previously Unreleased, Stereo)
13. ハウ・ディープ・イズ・ジ・オーシャン (テイク 2) How Deep Is the Ocean (Take 2, Alternate, Stereo)

*未発表トラック

ビル・エヴァンス・黄金トリオ
の作品一覧

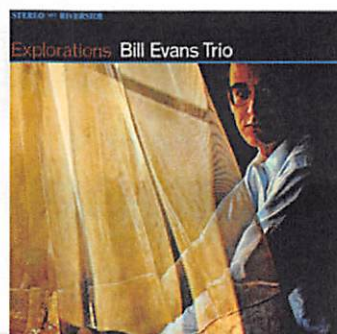


UCCO-46015 『ポートレート・イン・ジャズ+1』

●ピアノの詩人が天才ベーシスト、スコット・ラファロと出会った最初の記録。
トリオが織りなすスリルと緊張感に満ちたインタープレイが凄まじい。

★1959年12月28日、ニューヨークにて録音

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 降っても晴れても | 6. ベリズ・スコープ |
| 2. 枯葉(テイク1) | 7. 恋とは何でしょう? |
| 3. 枯葉(テイク2) | 8. スプリング・イズ・ヒア |
| 4. ウィッチクラフト | 9. いつか王子様が |
| 5. ホエン・アイ・フォール・イン・ラヴ | 10. ブルー・イン・グリーン |
| | 11. ブルー・イン・グリーン(別テイク)* |
- *ボーナス・トラック

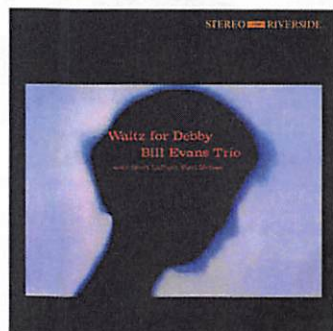


UCCO-46019 『エクスプロレイションズ+2』

●静謐な美しさを湛えた、リヴァーサイド4部作中最高の完成度。知性と抒情が融合するエヴァンスのピアノが、限りなく耽美な世界を描いていく。

★1961年2月2日、ニューヨークにて録音

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. イスラエル | 6. ハウ・ディープ・イズ・ジ・オーシャン |
| 2. 魅せられし心 | 7. アイ・ウィッシュ・アイ・ニュー |
| 3. ビューティフル・ラヴ | 8. スウィート・アンド・ラヴリー |
| 4. エルザ | 9. ビューティフル・ラヴ(別テイク)* |
| 5. ナーディス | 10. ザ・ボーイ・ネクスト・ドア* |
- *ボーナス・トラック



UCCO-46014 『ワルツ・フォー・デビー+4』

●ジャズ史上最高の人気を誇る名作。ロマンティックなメロディが名門ジャズ・クラブのざわめきの中へ溶け、奇跡のように美しい演奏が生まれた。

★1961年6月25日、ニューヨーク、ヴァレッジ・ヴァンガードにてライブ録音

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. マイ・フォーリッシュ・ハート | 6. マイルストーンズ |
| 2. ワルツ・フォー・デビー | 7. ワルツ・フォー・デビー(別テイク)* |
| 3. デトゥアー・アヘッド | 8. デトゥアー・アヘッド(別テイク)* |
| 4. マイ・ロマンス | 9. マイ・ロマンス(別テイク)* |
| 5. サム・アザー・タイム | 10. ボーギー(アイ・ラヴズ・ユー、ボーギー)* |



UCCO-46018 『サンデイ・アット・ザ・ヴァレッジ・ヴァンガード+5』

●『ワルツ・フォー・デビー』と対をなすライブ盤。録音から11日後に急逝した名手スコット・ラファロのしなやかで美しいベース・ワークは永遠に。

★1961年6月25日、ニューヨーク、ヴァレッジ・ヴァンガードにてライブ録音

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. グロリアズ・ステップ | 6. ジェイド・ヴィジョンズ |
| 2. マイ・マンズ・ゴーン・ナウ | 7. グロリアズ・ステップ(別テイク)* |
| 3. ソーラー | 8. 不思議な国のアリス(別テイク)* |
| 4. 不思議の国のアリス | 9. オール・オブ・ユー(別テイク1)* |
| 5. オール・オブ・ユー | 10. オール・オブ・ユー(別テイク2)* |
| | 11. ジェイド・ヴィジョンズ(別テイク)* |
- *ボーナス・トラック

プロフィール

ビル・エヴァンス / Bill Evans (p)

1929年8月16日ニュージャージー州生まれ、1980年9月15日ニューヨークで死去。

叙情的なタッチ、斬新なハーモニーと果敢な冒険精神を併せ持った、ジャズ・ピアノ界における真のバイオニア。

56年に初リーダー作『ニュー・ジャズ・コンセプト』を録音、58年にはマイルス・デイヴィスのバンドに参加。59年に天才ベーシスト＝スコット・ラファロを迎えたトリオを結成。61年のラファロ死去までに『ポートレイト・イン・ジャズ』、『フルツ・フォー・デビイ』等4枚のアルバムを残す。その後もジム・ホール、エディ・ゴメス、ジャック・ディジョネット、マーク・ジョンソン等をパートナーに迎え、インタープレイと形容される演奏スタイルを熟成させたほか、ソロ・ピアノでも数多くの名作を残した。そのなかでも『フルツ・フォー・デビイ』は、いまなお愛され続ける日本で最も売れているジャズの名盤で、2016年4月にRIAGールド・ディスクに認定、日本でも最も売れているピアノ・トリオ・アルバムとなっている。

スコット・ラファロ / Scott LaFaro (double-b)

1936年4月3日ニュージャージー州生まれ、1961年7月6日ニューヨークで死去。

ビッグバンドのミュージシャンの父親のもと、小学校でピアノを始め、中学校でバス・クラリネット、高校入学時にテナー・サックスを演奏し始めたが、大学進学前の18歳で弦楽器の習得が音楽教育専攻の必須条件だったため、コントラバスを始め、イサカ大学で3か月過ごした後、ベースに専念し、カレッジ・スパーやジョーズ・レストランでバンド演奏をスタート。1955年よりバディ・モロウ・ビッグバンドのメンバーとなったが、その後LAに移住し、同僚ベーシストのレッド・ミツチェルから技法を教わるなどベースの練習に時間を費やし、1958年にはピアニスト／ヴィブラフォン奏者ヴィクター・フェルドマンのバンドで過ごした。1959年、トランペット奏者チェット・ベイカー、バンドリーダーのスタン・ケントン、ヴィブラフォン奏者カル・ジェイダー、クラリネット奏者ベニー・グッドマンとの共演を経て、ラファロは東海岸に戻り、マイルス・デイヴィス・セクステットを脱退したばかりのビル・エヴァンス・トリオに加入した。エヴァンスとドラマーのポール・モチアンと共に、彼の演奏を特徴づけることになる対旋律的スタイルを確立した。エヴァンス、ラファロ、モチアンは、トリオにおいて三つの平等な声部という理念に徹し、単一の音楽的構想のために協働し、新たなピアノ・トリオとして注目されはじめた。

1960年末までに、ラファロはベーシストとして高い需要を得ていた。1961年1月、チャーリー・ヘイデンに代わりオーネット・コールマンのベーシストに就任。一時期、ヘイデンとラファロはアパートを共有していた。またビル・エヴァンス・トリオの活動間にはスタン・ゲッツのバンドでも演奏した。この頃、マイルス・デイヴィスから彼を雇いたい旨の挨拶状が届いている。

1961年6月、ビル・エヴァンス・トリオはニューヨークのヴィレッジ・ヴァンガードで2週間にわたる公演を開始。その演奏スタイルが注目を集めた。最終日6月25日には2枚のアルバム『サンデー・アット・ザ・ヴィレッジ・ヴァンガード』と『フルツ・フォー・デビイ』として録音された。

しかし、その11日後の1961年7月6日、ニューヨーク州セネカで自動車事故により死去した。ニューポート・ジャズ・フェスティバルでスタン・ゲッツの伴奏を務めてからわずか4日後の出来事だった。ポール・モチアンによれば、ラファロの死はビル・エヴァンスを「悲しみに打ちひしがれ」「ショック状態に陥り」「幽霊のようになった」状態に陥らせたという。彼は執拗に「アイ・ラヴズ・ユー、ボーギー」を演奏した。この曲は彼とラファロの代名詞となっていた。そして、エヴァンスは数か月間演奏活動を停止した。

エヴァンスはラファロを「ジャズ界で最も傑出した才能の一人、いや最高峰だった」と評した。伝説的ベーシスト、レイ・ブラウンはこう付け加えた。「彼は私が長年見てきた中でも最も才能ある若手のひとりだった。その年齢にしては、本当に全てを網羅していた。本当に残念だ、実に残念なことだ。この楽器の発展が10年遅れるだろう」と語った。モチアンは「マイルスとのレコーディング予定があったんだ。トリオで、ビルと俺とスコットの。…マイルスとも話が進んでいて、全て決まっていたのに、スコットが亡くなってしまい、全てが忘れ去られてしまった」と記している。

ポール・モチアン / Paul Motian (ds)

1931年3月25日ペンシルベニア州生まれ、2011年11月22日ニューヨークで死去。

アルメニア系アメリカ人のジャズドラマー、パーカッショニスト、作曲家。

幼少期にギターを弾いた後、12歳でドラムを始め、やがてスウィングバンドでニューイングランド地方をツアー。朝鮮戦争中は海軍に入隊し、1954年までワシントンD.C.の米国海軍音楽学校に通い、マンハッタン音楽学校にも在籍した。1954年にプロのミュージシャンとなり、ピアニストのセロニアス・モンクと短期間共演。

1959年、ビル・エヴァンス・トリオへの参加で初めて注目を集め、スコット・ラファロがなくなった後もチャック・イスラエルと共に1964年までトリオに在籍していた。その後、ピアニストのポール・プレイ(1963-64年)やキース・ジャレット(1967-76年)と共演。自身によるバンドリーダーとしてのキャリアは1970年代初頭に始まり、最も注目すべき2つのグループは、ギタリストのビル・フリゼールとサックス奏者のジョー・ロヴァーノとの長年にわたるトリオ、そして主に若手ミュージシャンと共にビバップのスタンダード曲を解釈したエレクトリック・ビバップ・バンドであった。



EVERYTHING JAZZ あなたとジャズが会う場所

シーン最前線のアーティストから歴史的録音、そして隠れた名盤までさまざまなジャズと出会える新しい情報サイト

EVERYTHINGJAZZ.JP



本日、下記QRコードからEverything Jazzのインスタをフォローいただけた方にはEverything Jazzオリジナル眼鏡拭きをプレゼントします！



ご希望の方はお帰りの際にスマホをお見せいただけますようお願いいたします。